



Australian Government

COVID-19 VACCINATION

妊娠・授乳と COVID-19 ワクチン

2022 年 7 月 13 日

妊娠中、授乳中および妊娠を予定している女性には、Comirnaty (Pfizer) もしくは Spikevax (Moderna) ワクチンの接種が推奨されています。これらのワクチンが入手困難であれば、Nuvaxovid (Novavax) もしくは Vaxzevria (AstraZeneca) ワクチンを接種することもできます。妊娠中の女性は、妊娠期間中どの時期でもワクチン接種を受けることができます。

妊娠中の女性や胎児は、COVID-19 感染で深刻な悪影響を受ける危険性が高く、妊婦は COVID-19 に感染すると、入院や集中治療室での治療が必要になる可能性が高いです。また、その場合は早産（妊娠 37 週未満の出産）の可能性や入院を必要とする可能性がやや高くなります。

ワクチン接種は、こうした危険性を回避する最適な手段です。COVID-19 ワクチンの通常接種は、Pfizer もしくは Moderna のワクチンを 2 回、8 週間間隔で行います。中度ないし極度の免疫無防備状態にある人や、COVID-19 にかかると重症化するリスクの高い女性は、それより短い接種間隔を推奨されることもあります。

極度の免疫無防備状態にある妊娠中の女性は、通常接種として、2 回目接種の 2 カ月後に 3 回目の接種を推奨されています。

実際に妊娠中や授乳中に Pfizer や Moderna ワクチンの接種を受けた人の例からも安全であることが確かめられています。Novavax や AstraZeneca ワクチンについても、妊娠中、授乳中ないし妊娠計画中の接種に特有の安全上の懸念は確認されていませんが、これらのワクチンは、妊娠中や授乳中の女性に関する安全データが少ないため推奨はされていません。

妊娠中や授乳中の女性はブースター接種や 4 回目の接種を受けるべきですか？

予防接種の効果は時間の経過により減衰します。ブースター接種は、COVID-19 重症化に対する防御を長持ちさせます。以下に該当する全ての妊娠中または授乳中の女性は、COVID-19 ワクチンのブースター接種を受けることが推奨されています。

- 16 歳以上、かつ
- COVID-19 ワクチンの通常接種完了から 3 カ月以上経過している。

12～15 歳でも以下が該当する人にはブースター接種を受けることができます。

- 極度の免疫無防備状態にある
- 相当程度あるいは複雑な治療を要する身体障害がある
- COVID-19 で重症化するリスクを高めるような複雑あるいは多重の基礎疾患がある

特定の、妊娠中または授乳中の女性は、4回目の COVID-19 ワクチン接種を受けることが推奨されています。以下に該当する、16歳以上の妊娠中または授乳中の女性は、最初のブースター接種の3カ月後に4回目の接種を受けてください。

- 極度の免疫無防備状態にある
- 特定の癌がある
- 治療を要する自己免疫疾患がある
- 肺、肝臓、腎臓、脳、心臓の慢性または重度の疾患がある
- 糖尿病で薬を飲んでいる
- 相当程度あるいは複雑な治療を要する身体障害がある
- 極度の肥満または低体重

ブースター接種や4回目接種を受けるべきかどうか分からないときは、医師に相談してください。

妊娠中の COVID-19 ワクチン接種で起こり得る副反応

COVID-19 ワクチンによる一般的な副反応には以下のようなものがあります。

- 発熱
- 腕の痛み
- 頭痛
- 筋肉の痛み
- 関節の痛み
- 悪寒

こうした一般的な副反応が起きた場合、パラセタモール (paracetamol) を服用して緩和することができます。パラセタモールは妊娠時期にかかわらず安全に服用できます。

世界各国のデータを見ても、妊婦や胎児に特有の副反応は認められていません。まだ研究によって確認されていない非常に稀な副反応が存在する可能性は否定できませんが、。

妊娠中の COVID-19 ワクチン接種の利点

妊娠中の女性が COVID-19 に感染すると、死産や早産の危険性が高くなります。また、分娩中胎児仮死の危険性や新生児集中治療室での治療を必要とする確率が高くなります。

ワクチン接種は、こうした危険性を回避する最適な手段です。

科学的研究結果によると、COVID-19 ワクチンは、母体で作る抗体は胎盤を経由して胎児まで行き渡り、生後6カ月未満の新生児が COVID-19 に感染して入院することを防ぐ助けになることがわかっています。

授乳中の女性について

授乳中の女性には Pfizer もしくは Moderna ワクチンが推奨されています。これらのワクチンが入手困難であれば、Nuvaxovid (Novavax) もしくは Vaxzevria (AstraZeneca) ワクチンを接種することもできます。医師に相談してください。

接種前後を通じて授乳を継続できます。

妊娠予定の女性について

妊娠予定の女性には Pfizer もしくは Moderna ワクチンが推奨されています。妊娠前に接種すれば、妊娠期間中を通じて COVID-19 予防効果が得られます。以下にご留意ください。

- 接種前や接種後に避妊する必要はありません。
- ワクチン接種で受胎率が変化することはありません。
- 接種前に妊娠検査をする必要はありません。

詳しい情報

COVID-19 ワクチン接種実施機関等を調べるには、以下のウェブサイトをご覧ください。

www.health.gov.au。



COVID-19 ワクチンについて質問がある場合には、かかりつけの医師に相談するか、health.gov.au/covid19-vaccines-languages のウェブサイトを参照、あるいは、National Coronavirus Helpline（電話：1800 020 080）に電話してください。無料通訳サービスを利用するには、オプション 8 を選びます。